

46-A-051 車軸関節はどれか。2つ選べ。

1. 顎関節
2. 正中環軸関節
3. 近位橈尺関節
4. 椎間関節
5. 脛骨大腿関節

46-A-052 筋と付着部との組合せで正しいのはどれか。

1. 腸腰筋——大転子
2. 長内転筋——坐骨結節
3. 半腱様筋——腓骨頭
4. 長腓骨筋——舟状骨
5. 前脛骨筋——内側楔状骨

46-A-053 外側皮質脊髄路が交叉するのはどこか。

1. 放線冠
2. 内包
3. 中脳
4. 延髄
5. 脊髄

46-A-054 筋と支配神経との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 僧帽筋——長胸神経
2. 小菱形筋——肩甲下神経
3. 棘下筋——肩甲上神経
4. 小円筋——腋窩神経
5. 大円筋——肩甲背神経

46-A-055 運動神経線維を含まない神経はどれか。

1. 外側足底神経
2. 大後頭神経
3. 腓腹神経
4. 肋間神経
5. 胸背神経

46-A-056 心臓の解剖で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 僧帽弁は3尖である。
2. 大静脈は左心房に入る。
3. 右心室から肺動脈が出る。
4. 卵円窩は心室中隔にある。
5. 冠状動脈は大動脈から分岐する。

46-A-057 リンパの流れについて正しいのはどれか。

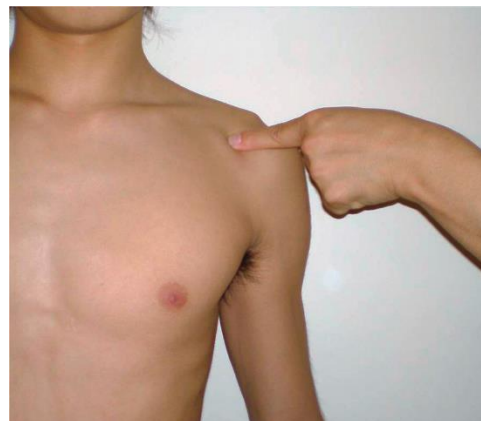
1. 腸リンパ本幹は右リンパ本幹に注ぐ。
2. 乳び槽は頭部のリンパを集める。
3. 胸管は左鎖骨下静脈に注ぐ。
4. 右上肢のリンパは胸管に注ぐ。
5. 右下肢のリンパは右リンパ本幹に注ぐ。

46-A-058 気管について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 気管は食道の背側にある。
2. 気管分岐角は約70°である。
3. 右主気管支は左主気管支よりも太い。
4. 気管は第2胸椎の高さで左右に分岐する。
5. 左主気管支は胸大動脈の背側から肺に入る。

46-A-059 左頸肩腕部の写真を示す。

指で示している部位はどれか。



1. 第一肋骨
2. 胸鎖関節
3. 肩鎖関節
4. 烏口突起
5. 上腕骨小結節

46-A-060 成人の体表面で、全体表面の約9%に相当するのはどれか。2つ選べ。

1. 頭部
2. 外陰部
3. 胸腹部
4. 一側上肢
5. 一側下肢

46-A-061 頭蓋内圧亢進でみられない症状はどれか。

1. 頭痛
2. 嘔気
3. 頻脈
4. 血圧上昇
5. うっ血乳頭

46-A-062 正しいのはどれか。

1. 腓腹筋の神経支配比は外眼筋よりも小さい。
2. 1つの運動単位に属する筋線維は同期して興奮する。
3. γ 運動ニューロンは運動単位の構成要素の1つである。
4. 遅筋の支配神経線維の径は速筋の支配神経線維よりも太い。
5. 大径の脊髄前角細胞は小径の細胞よりも弱い筋収縮力で興奮する。

46-A-063 運動時の生体反応で正しいのはどれか。

1. 腎血流は増加する。
2. 脳血流は増加する。
3. 冠血流は増加する。
4. 拡張期血圧は低下する。
5. 酸素含有量の動静脈較差は減少する。

46-A-064 循環生理で正しいのはどれか。

1. Valsalva (バルサルバ) 試験中は一回拍出量が増加する。
2. Aschner (アシュネル) 試験では心拍数が増加する。
3. 頸動脈洞マッサージでは心拍数が増加する。
4. 右心房への静脈還流は吸気時に増加する。
5. 臥位と立位では静脈還流に大きな変化はない。

46-A-065 心電図について正しいのはどれか。

1. P波は洞結節の興奮に対応する。
2. PQ間隔は心房内の興奮伝導時間である。
3. QRS間隔は心室全体への興奮伝導時間である。
3. ST部分は心室の再分極する過程を示す。
4. T波はPrukinje (プルキンエ) 線維の再分極に対応する。

46-A-066 嚥下で正しいのはどれか。

1. 口腔内の食塊は反射運動で咽頭へ送られる。
2. 軟口蓋が挙上すると咽頭と鼻腔の通路が開く。
3. 喉頭蓋が引き上げられて気道が閉鎖される。
4. 食塊が食道に入る時期に呼吸が促進される。
5. 食道期の食塊移動は蠕動運動による。

46-A-067 内分泌器官とホルモンとの組合せで正しいのはどれか。

1. 膵臓——プロラクチン
2. 甲状腺——糖質コルチコイド
3. 副腎皮質——ノルアドレナリン
4. 副甲状腺——サイロキシン
5. 下垂体後葉——抗利尿ホルモン

46-A-068 末梢神経損傷で予後が最も良いのはどれか。

1. Waller (ワーラー) 変性
2. 放射線ニューロパチー
3. neurotmesis (ニューロトメーシス)
4. axonotmesis (アクソノトメーシス)
5. neurapraxia (ニューラプラキシア)

46-A-069 タイプII筋線維と比較してタイプI筋線維の特徴はどれか。

1. 筋線維の径が太い。
2. 筋小胞体数が少ない。
3. 酸化酵素活性が低い。
4. ミトコンドリアが少ない。
5. ミオグロビン量が少ない。

46-A-070 正しいのはどれか。

1. 凹足では主に横アーチが高くなる。
2. 足の縦アーチは外側が内側よりも高い。
3. 距腿関節は底屈位で遊びが小さくなる。
4. 足根中足関節では主にすべり運動が生じる。
5. 横足根関節は距舟関節と距骨下関節とからなる。

46-A-071 筋と基本肢位からの肩関節運動の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 棘上筋———外 転
2. 大円筋———屈 曲
3. 小円筋———内 旋
4. 広背筋———伸 展
5. 烏口腕筋———伸 展

46-A-072 膝関節屈曲位における筋と下腿への作用との組合せで正しいのはどれか。

1. 縫工筋———外 旋
2. 半腱様筋———内 旋
3. 膝窩筋———外 旋
4. 大腿二頭筋———内 旋
5. 大腿筋膜張筋———内 旋

46-A-073 呼気時に働く筋はどれか。

1. 横隔膜
2. 大胸筋
3. 後斜角筋
4. 外腹斜筋
5. 胸鎖乳突筋

46-A-074 歩行の神経機構として、中枢パターン発生器 (central pattern generator) 説がある。

この神経機構で誤っているのはどれか。

1. 解剖学的な構造が明確である。
2. 意図的な制御を軽減している。
3. ヒト以外の動物にもみられる。
4. 相反性抑制機構が関与している。
5. 脳幹部以上の中枢から制御を受けている。

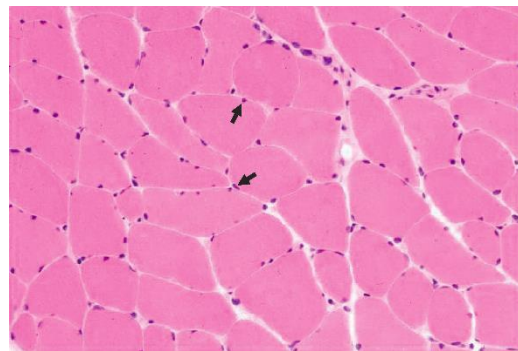
46-A-075 アテローム (粥状) 硬化と関係するのはどれか。

1. Buerger 病
2. 肥大型心筋症
3. 悪性腎硬化症
4. 僧帽弁狭窄症
5. 腹部大動脈瘤

46-A-076 急性炎症が主な病態であるのはどれか。

1. 肩関節周囲炎
2. 痛風性関節炎
3. 結核性膝関節炎
4. 肘離断性骨軟骨炎
5. 上腕骨外側上顆炎

46-A-077 骨格筋の病理組織標本を示す。矢印で示すのはどれか。



1. 核
2. 赤血球
3. リンパ球
4. 末梢神経
5. 毛細血管

46-A-078 血圧降下薬としての作用機序で適切なのはどれか。

1. 利尿
2. 心拍数増加
3. 心拍出量増大
4. 血管平滑筋収縮
5. ナトリウム貯留

46-A-079 正しい組合せはどれか。

1. Piaget (ピアジェ) ———性格類型
2. Freud (フロイト) ———認知発達
3. Rogers (ロジャーズ) ———来談者中心
4. Erikson (エリクソン) ———無意識
5. Kretschmer(クレッチマー)—発達課題

46-A-080 不安を伴う事柄を思い出さないようになることはどれか。

1. 昇華
2. 投射
3. 抑圧
4. 合理化
5. 知性化

46-A-081 「全般的な知能に大きな低下がなく、文字を読めば分かるが書くことができない」のはどれか。

1. 学習障害
2. Rett 症候群
3. Tourette 症候群
4. 広汎性発達障害
5. 注意欠陥多動性障害

46-A-082 頸髄完全損傷の機能残存レベルと課題との組合せで誤っているのはどれか。

1. C4———電動車椅子の操作
2. C5———ベッドへの横移乗
3. C6———長便座への移乗
4. C7———自動車への車椅子の積み込み
5. C8———高床浴槽への出入り

46-A-083 前方脱臼よりも後方脱臼の頻度が高いのはどれか。2つ選べ。

1. 顎関節
2. 環軸椎関節
3. 肩関節
4. 肘関節
5. 股関節

46-A-084 ノーマライゼーションとして誤っているのはどれか。

1. 大規模収容施設の建設
2. 交通機関のバリアフリー化
3. ユニバーサルデザインの導入
4. 市民への障害についての啓発活動
5. 職業訓練センターの障害者用プログラム策定

46-A-085 ウイルス感染症に比べ細菌感染症に認められやすい特徴はどれか。

1. 高熱
2. 発疹
3. 蛋白尿
4. 好中球増多
5. 無痛性リンパ節腫脹

46-A-086 変形性膝関節症で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 二次性が多い。
2. 女性よりも男性に好発する。
3. 外反変形を生じやすい。
4. 運動開始時に疼痛がある。
5. 大腿四頭筋の萎縮を認める。

46-A-087 原発性骨粗鬆症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 男性に多い。
2. 海綿骨の減少を伴う。
3. 喫煙は危険因子である。
4. 低カルシウム血症を伴う。
5. 骨折好発部位は尺骨である。

46-A-088 中枢神経の感染症と病原体との組合せで誤っているのはどれか。

1. エイズ脳症———ウイルス
2. Creutzfeldt-Jakob (クロイツフェルト・ヤコブ) 病———プリオン
3. 進行麻痺———スピロヘータ
4. 日本脳炎———ウイルス
5. 急性灰白髄炎 (ポリオ) ——細菌

46-A-089 外傷性脳損傷後にみられやすい症状はどれか。

1. 運動失語
2. 着衣失行
3. 相貌失認
4. 全般性注意障害
5. 左半側空間無視

46-A-090 肘部管症候群の症状で正しいのはどれか。
2つ選べ。

1. 猿手変形
2. 鉤爪手変形
3. ボタン穴変形
4. Tinel 徴候
5. 前腕近位尺側の感覚障害

46-A-091 皮膚筋炎で誤っているのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 四肢近位筋の筋力が低下する。
3. 赤沈が亢進する。
4. 血中 CK 値が低下する。
5. 悪性腫瘍を高率に合併する。

46-A-092 ヘリコバクター・ピロリ菌の感染が原因となるのはどれか。

1. 胆嚢炎
2. 急性膵炎
3. 萎縮性胃炎
4. 逆流性食道炎
5. 潰瘍性大腸炎

46-A-093 内分泌異常と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 抗利尿ホルモン分泌亢進——尿崩症
2. 副甲状腺機能低下——テタニー
3. 甲状腺機能低下——Basedow 病
4. 下垂体前葉ホルモン欠損——先端巨大症
5. 副腎皮質機能低下——Cushing 症候群

46-A-094 心不全でみられにくい所見はどれか。

1. 胸水の出現
2. 左室前壁の不動化
3. 心胸郭比 (CTR) : 70%
4. 左室駆出率 (LVEF) : 60%
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) の増加

46-A-095 嚥下障害に対する治療法はどれか。

1. Shaker (シャキア) 法
2. DeLorme (デローム) 法
3. Jakobson (ヤコブソン) 法
4. Codman (コッドマン) 体操
5. Buerger-Allen (バージャー・アレン) 体操

46-A-096 ビタミン B1 (チアミン) 欠乏によるのはどれか。2つ選べ。

1. 脚 気
2. 痛 風
3. ペラグラ脳症
4. Mallory-Weiss (マロリー・ワイス) 症候群
5. Wernicke-Korsakoff (ウェルニッケ・コルサコフ) 症候群

46-A-096 ビタミン B1 (チアミン) 欠乏によるのはどれか。2つ選べ。

1. 脚 気
2. 痛 風
3. ペラグラ脳症
4. Mallory-Weiss (マロリー・ワイス) 症候群
5. Wernicke-Korsakoff (ウェルニッケ・コルサコフ) 症候群

46-A-097 物質依存についての組合せで適切なのはどれか。

1. カフェイン——共依存
2. ベンゾジアゼピン——離脱症状
3. トルエン——嫉妬妄想
4. 大 麻——身体依存
5. 覚せい剤——滞続言語

46-A-098 「自分の周辺でただならぬ事件が起こっている気がして不気味だ」という訴えはどれか。

1. 強迫観念
2. 社会恐怖
3. 妄想気分
4. 作為体験
5. 支配観念

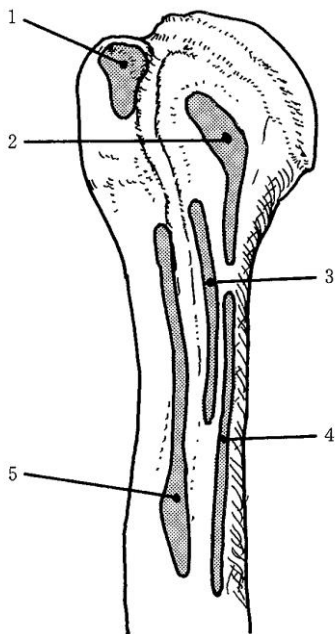
46-A-099 パニック発作に関して正しいのはどれか。

1. 健忘を残す。
2. 予期不安がある。
3. 転換症状である。
4. 脳波で棘徐波を認める。
5. フラッシュバックを伴う。

46-A-100 摂食障害でみられないのはどれか。

1. 徐脈
2. 無月経
3. 低体温
4. 高血圧
5. 電解質異常

46-P-051 肩甲下筋の付着部位で正しいのはどれか。



46-P-052 頭頂葉にあるのはどれか。

1. 角回
2. 帯状回
3. 歯状回
4. 海馬傍回
5. 中心前回

46-P-053 温痛覚の伝導路はどれか。

1. 前皮質脊髄路
2. 後脊髄小脳路
3. 前脊髄小脳路
4. 前脊髄視床路
5. 外側脊髄視床路

46-P-054 下肢の筋と支配神経との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 中殿筋——下殿神経
2. 縫工筋——閉鎖神経
3. 膝窩筋——脛骨神経
4. 後脛骨筋——総腓骨神経
5. 短指屈筋——内側足底神経

46-P-055 神経再生の過程で迷入再生をきたしやすい顔面神経の解剖学的特徴はどれか。

1. 耳下腺内を走行する。
2. 支配筋に筋紡錘がない。
3. 骨性神経管内を走行する。
4. 多数の運動終板を形成する。
5. 神経束構造が欠落している。

46-P-056 門脈に流入しないのはどれか。

1. 脾静脈
2. 左胃静脈
3. 左腎静脈
4. 空回腸静脈
5. 上腸間膜静脈

46-P-057 正しいのはどれか。

1. 食道は上行大動脈の腹側にある。
2. 胃底部は横隔膜と接する。
3. 胆嚢は肝臓の頭側に接する。
4. 総肝管は十二指腸に開口する。
5. 膵頭部は脾臓に接する。

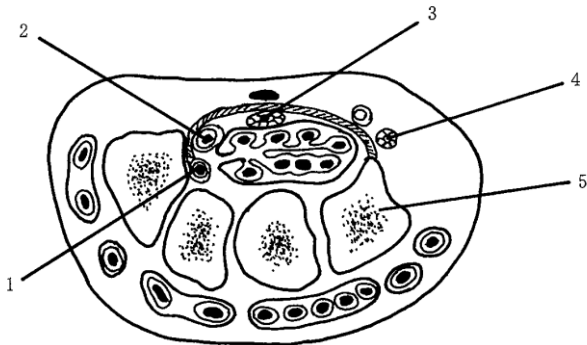
46-P-058 排尿で正しいのはどれか。

1. 膀胱は交感神経活動で収縮する。
2. 排尿の反射中枢は腰髄にある。
3. 内尿道括約筋は副交感神経活動で収縮する。
4. 外尿道括約筋は随意制御できる。
5. 外尿道括約筋は陰部神経活動によって弛緩する。

46-P-059 皮下組織直下に筋腹を触知できないのはどれか。

1. 上腕筋
2. 回外筋
3. 円回内筋
4. 尺側手根伸筋
5. 長橈側手根伸筋

46-P-060 手根管の模式図を示す。解剖で正しいのはどれか。



1. 尺骨神経
2. 尺骨動脈
3. 正中神経
4. 長母指屈筋腱
5. 有頭骨

46-P-061 皮質覚（複合感覚）に分類されるのはどれか。2つ選べ。

1. 二点識別覚
2. 関節位置覚
3. 部位覚
4. 圧覚
5. 振動覚

46-P-062 筋紡錘で正しいのはどれか。

1. 錘外筋の筋線維と平行に存在する。
2. 求心性線維はIb群に属する。
3. α 運動ニューロンの支配を受ける。
4. 一次終末は主に核鎖線維に終止する。
5. 二次終末は主に伸張の速度を検知する。

46-P-063 副交感神経の興奮によるものはどれか。

1. 瞳孔散大
2. 胆嚢弛緩
3. 消化管蠕動抑制
4. 気管支平滑筋収縮
5. 外生殖器血管収縮

46-P-064 CO₂と換気との関係で正しいのはどれか。

1. 換気が低下すると呼吸性アルカローシスを生じる。
2. 代謝性アシドーシスでは換気が増加する。
3. PaCO₂は通常24Torrに維持されている。
4. PaCO₂は呼吸性アルカローシスで上昇する。
5. PaCO₂が低下すると換気が増大する。

46-P-065 IgEが関与しないのはどれか。

1. 気管支喘息
2. ツベルクリン反応
3. アトピー性皮膚炎
4. アレルギー性鼻炎
5. アナフィラキシーショック

46-P-66 唾液によって分解されるのはどれか。

1. 脂質
2. 蛋白質
3. ブドウ糖
4. デンプン
5. セルロース

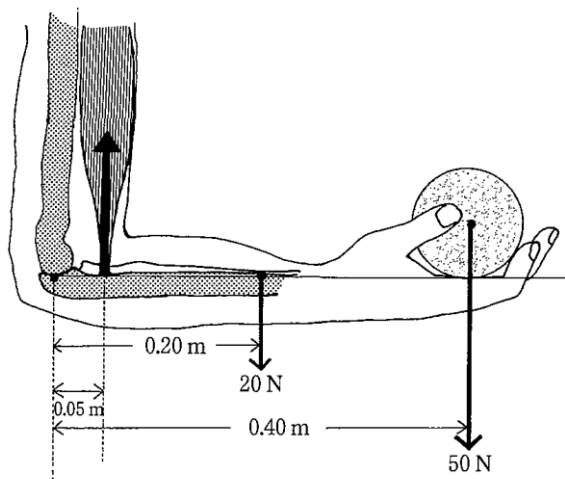
46-P-067 体温で正しいのはどれか。

1. 血管収縮で熱放散が低下する。
2. 呼気は熱放散を減少させる。
3. 体温調節中枢は小脳にある。
4. 高齢者は小児よりも高い。
5. 午前よりも午後が低い。

46-P-068 高齢者で減少するのはどれか。2つ選べ。

1. 心拍出量
2. 腎血流量
3. 体脂肪率
4. 末梢血管抵抗
5. 機能的残気量

46-P-069 手で鉄球を持ち、図に示す構えを保持した場合、肘関節にかかる関節反力はどれか。



1. 4N
2. 20N
3. 24N
4. 410N
5. 480N

46-P-070 随意運動の制御に関与する部位はどれか。

1. 松果体
2. 扁桃体
3. 歯状核
4. 青斑核
5. 海馬

46-P-071 肘関節屈曲に作用するのはどれか。2つ選べ。

1. 肘筋
2. 上腕筋
3. 回外筋
4. 腕橈骨筋
5. 上腕三頭筋

46-P-072 正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 腸骨大腿靭帯は股関節外旋を制限する。
2. 坐骨大腿靭帯は股関節屈曲を制限する。
3. 小殿筋の収縮は股関節外旋を制限する。
4. 半膜様筋の収縮は膝関節内旋を制限する。
5. 大腿二頭筋の収縮は膝関節屈曲を制限する。

46-P-073 姿勢を不安定にする要因はどれか。2つ選べ。

1. 視覚の遮断
2. 高い重心位置
3. 広い支持基底
4. 接触面との大きな摩擦
5. 支持基底中心への重心線の投射

46-P-074 正常歩行で求心性収縮を示すのはどれか。2つ選べ。

1. 立脚初期の中殿筋
2. 踵接地期の前脛骨筋
3. 踵離地期の下腿三頭筋
4. つま先離地期の腸腰筋
5. 踵接地期直前のハムストリングス

46-P-075 変形性関節症の病理学的変化はどれか。

1. 関節軟骨の破壊
2. アミロイドの沈着
3. 尿酸塩結晶の沈着
4. ピロリン酸カルシウムの沈着
5. Langhans (ラングハンス) 巨細胞の出現

46-P-076 原発性脳腫瘍で最も予後が悪いのはどれか。

1. 膠芽腫
2. 上衣腫
3. 下垂体腺腫
4. 星状細胞腫
5. 乏突起膠腫

46-P-077 痙縮の治療においてボツリヌス毒素の作用部位はどれか。

1. 脊髄後根神経節
2. 脊髄前角
3. 脊髄前根
4. 運動神経終末
5. 筋小胞体

46-P-078 脳損傷後の出来事が思い出せないようになることはどれか。

1. 作 話
2. 失 認
3. 前向健忘
4. 逆向健忘
5. 見当識障害

46-P-079 青年期の心理的発達課題に関与するのはどれか。2つ選べ。

1. 自己中心性
2. 第一反抗期
3. 自我同一性
4. モラトリアム
5. ギャング・エイジ

46-P-080 人格検査はどれか。2つ選べ。

1. WISC-III
2. 文章完成テスト
3. ロールシャッハテスト
4. 内田・クレペリンテスト
5. WCST (Wisconsin Card Sorting Test)

46-P-081 学習理論に基づく技法を用いた療法はどれか。

1. 内観療法
2. 箱庭療法
3. 交流分析
4. 認知行動療法
5. 精神分析療法

46-P-082 高齢者の長期の安静臥床の影響として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 記銘力の低下
2. 1回換気量の増加
3. 循環血液量の減少
4. 安静時心拍数の減少
5. 血中カルシウム濃度の低下

46-P-083 視床症候群の症候として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. めまい
2. 重度片麻痺
3. 体温の上昇
4. 激しい自発痛
5. 深部感覚障害

46-P-084 クリニカルパスの利点として誤っているのはどれか。

1. 医療の標準化
2. 業務の効率化
3. 入院期間の短縮
4. 責任所在の分散化
5. 患者に対する治療説明への利用

46-P-085 小児の切断で正しいのはどれか。

1. 5歳児の切断では幻肢が生じる。
2. 先天性切断では一側下肢切断が最も多い。
3. 後天性切断では一側上肢切断が最も多い。
4. 上腕切断では後に脊柱側弯を生じやすい。
5. 下腿切断では後に外反膝変形を生じやすい。

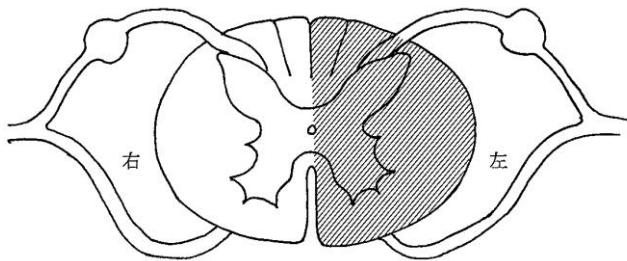
46-P-086 腰椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. 椎間板の前側方突出が多い。
2. 第3・4腰椎間で最も多く発症する。
3. 第3・4腰椎間で生じると膝蓋腱反射が亢進する。
4. 第4・5腰椎間で生じると下腿三頭筋の筋力低下を認める。
5. 第5腰椎・第1仙椎間で生じるとアキレス腱反射が低下する。

46-P-087 Wallenberg 症候群を起こす病態で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 橋出血
2. ラクナ梗塞
3. 脳動静脈奇形
4. 脳底動脈解離
5. 内頸動脈閉塞症

46-P-088 第 5 胸髄レベルの脊髓横断面の模式図に損傷部位を斜線で示す。右下肢にみられる症状はどれか。



1. 運動麻痺
2. 痛覚鈍麻
3. 位置覚異常
4. 振動覚低下
5. 腱反射亢進

46-P-089 分娩麻痺で正しいのはどれか。

1. 低出生体重児に多い。
2. 下位型は頸部が伸展されて起こる。
3. 頭位分娩による上位型の予後は良い。
4. 頭位分娩では上位型よりも下位型が多い。
5. 両側例は骨盤位分娩よりも頭位分娩に多い。

46-P-090 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 罹患した部位に痙縮がみられる。
2. ウイルス感染が先行することが多い。
3. 軸索変性型は脱髄型よりも予後が良い。
4. 蛋白が高値で細胞増加がない髄液所見を伴う。
5. 症状は数か月かけて徐々に進行することが多い。

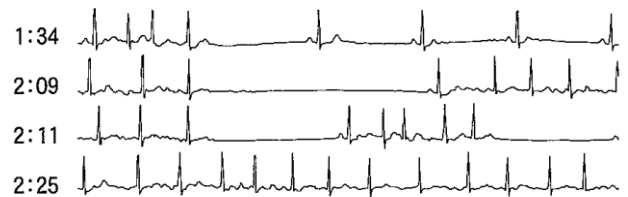
46-P-091 脳性麻痺で誤っているのはどれか。

1. 痙直型四肢麻痺では出生時から筋緊張が高い。
2. 痙直型両麻痺では上肢よりも下肢の障害が強い。
3. アテトーゼ型では緊張性頸反射の影響を受ける。
4. 精神的緊張でアテトーゼ型の不随意運動は増強する。
5. アテトーゼ型四肢麻痺では下肢よりも上肢の障害が強い。

46-P-092 胸部で聴取される捻髪音について正しいのはどれか。

1. 吸気終末に聴取できる。
2. 肺尖部で聴取しやすい。
3. 太い気管支由来の音である。
4. 閉塞性肺疾患で聴取しやすい。
5. 喀痰が多い場合に聴取しやすい。

46-P-093 同一患者の異なる時刻における心電図モニターを示す。認められるのはどれか。



1. 洞頻脈
2. 心房粗動
3. 心室性頻拍
4. 洞房ブロック
5. 完全左脚ブロック

46-P-094 虚血性大腸炎について正しいのはどれか。

1. 初発症状は腹痛である。
2. 大半が手術適応となる。
3. 好発部位は上行結腸である。
4. 発症のピークは 50 歳代である。
5. 頻回の下痢が発症の誘因となる。

46-P-095 上位運動ニューロンの障害でみられる症状はどれか。2つ選べ。

1. 振 戦
2. 痙 縮
3. 腱反射消失
4. 筋線維束攣縮
5. 病的反射陽性

46-P-096 いつも右足から踏み出さねばならないという思考の異常はどれか。

1. 保 続
2. 迂 遠
3. 作為体験
4. 思考化声
5. 強迫観念

46-P-097 治療中の統合失調症患者で眼球が上転し戻らない場合、最も可能性が高いのはどれか。

1. 転換症状
2. 悪性症候群
3. アカシジア
4. 急性ジストニア
5. 遅発性ジスキネジア

46-P-98 仮面うつ病で正しいのはどれか。

1. 作話症状が目立つ。
2. 仮性認知症を呈する。
3. 仮面様顔貌を呈する。
4. 身体症状が前景にでる。
5. 引きこもり傾向が強い。

46-P-099 光刺激で発作が誘発されるのはどれか。

1. 欠神てんかん
2. 側頭葉てんかん
3. ミオクロニーてんかん
4. West（ウェスト）症候群
5. Lennox-Gastaut（レノックス・ガストー）症候群

46-P-100 統合失調症の急性期治療で最も重要なのはどれか。

1. 薬物療法
2. 精神療法
3. 環境調節
4. 生活指導
5. 心理教育